

## 公益社団法人日本母性衛生学会 令和6年度臨時社員総会 議事録

日時： 令和6年10月18日（金） 13:30～14:02

場所： シーガイアコンベンションセンター 第1会場（4階 天瑞）

〒880-8545 宮崎県宮崎市山崎町浜山

### I 開会（森恵美副理事長）

総代議員の過半数の出席があり、定款に基づき本会は適法に成立する旨が告げられ開会が述べられた。

### II 理事長挨拶（正岡直樹理事長）

盛会裡に学術集会が進んでおり、改めて学術集会会長の金子政時常務理事へのお礼が述べられた。

本日の総会は報告事項が中心となる旨が述べられた。

以下、定款に基づき正岡直樹理事長を議長とする。

### III 第65回日本母性衛生学会学術集会会長挨拶（金子政時学術集会会長）

開始時点では1490名の来場があり、ご協力に対する感謝の意が述べられた。

また、宮崎県を楽しんで頂きたい旨が述べられた。

### IV 議事録署名人について（正岡直樹理事長）

小川久貴子常務理事、齋藤益子常務理事が議事録署名人に推薦され、承認された。

### V 報告

#### 1. 教育事業について（高橋眞理常務理事）

昨年10月より開始した教育認定制度 JSMHEBP は、第1回が終了している。認定制度の詳細は学会HPに掲載している。第1回目の認定制度では、「周産期ハイリスク分野」と「周産期メンタルヘルス分野」の2分野を開講した。周産期ハイリスク分野71名、周産期メンタルヘルス分野75名の受講申し込みがあった。CBT試験は、本年7月14日（日）にZoomとGoogle フォームを用いて実施した。最終合格者は両分野ともに33名であり、HP上には認定者を公開している。

今後、年度内での申請および受講、CBT試験が実施できるよう、第2回は2024年度の認定試験として同2分野のみ開講として制度運用整理を行った。現在、受講申し込み者への動画配信中であり、来年2月23日（日）にCBT試験実施予定。本日、明日には学会指定研修プログラムとして、中塚幹也先生・齋藤益子先生にご協力いただいている。2025年度の第3回認定制度では、新たに「リプロダクティブヘルス分野」を開講予定である。

### VI 学術論文優秀賞及び奨励賞表彰

優秀賞： 清拭素材の特性がヘアレスマウスの皮膚バリア機能に与える影響

〈著者〉森 楓，樋口 幸，小嶋 光明

奨励賞： NICU 患児に対する母親の関わりと産後抑うつ傾向の関連

〈著者〉村上 朋恵，朝澤 恭子

### VII コメディカル愛育賞表彰

・妊娠後期妊婦の下肢浮腫に対する弾性ストッキング装着の効果

—下深部静脈速度と血流量の測定を通して—

〈演者〉 森 かのん

- ・ウェアラブルウォッチを用いた妊娠中期の身体活動量が及ぼす妊娠後期の腰痛への影響

〈演者〉 高橋 彩華

- ・トランスジェンダー当事者が経験する職場での SOGI ハラスメントとメンタルヘルスの状況

〈演者〉 江口 珠美

- ・ICT を用いた産婦健康診査への遠隔システムの検討

〈演者〉 大井 伸子

#### VIII 名誉・功労会員表彰

本年 6 月開催の定時社員総会で既に承認頂いている、高橋健太郎氏を名誉会員、金山尚裕氏を功労会員として表彰した。

#### IX 第 66 回日本母性衛生学会学術集会会長挨拶（小川久貴子 第 66 回学術集会会長）

テーマ：母性衛生が拓く母子の笑顔

会場は新宿の京王プラザホテルを予定している。多くの方にご参加いただくため、演題募集を1 か月早め、ハイブリット型での開催を企画している。是非、ご協力をお願いしたい。

#### X 第 67 回日本母性衛生学会学術集会会長挨拶（越山雅文 第 67 回学術集会会長）

テーマ：琵琶湖からみんなに届け 生涯健康

初めての滋賀県での開催となる。会場の大津市民会館ならびに琵琶湖ホテルは都心からのアクセスも良い立地であり、是非足を運んでいただきたい。

#### XI 閉会（森恵美副理事長）

以上をもって、14 時 02 分に終了した。